

早稲田大学 基幹/創造/先進理工学部 生物 講評

出題形式	記述式
試験時間	120分(志望学部・学系・学科により、物理・化学・生物から2科目選択)
特徴・その他	昨年同様、大問数は3問構成である。昨年に分量が減少したが再度増加し、全体的に難化した印象はあるが、取り組みやすい問題は多い。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
〔Ⅰ〕	性決定・遺伝	性決定をテーマにした問題で、記述7問。問1は基本的な知識問題で、計算・考察を中心にした構成である。問3はやや難しいが、それ以外は的確に解答したい。	標準
〔Ⅱ〕	免疫	E L I S A法をテーマにした問題。空欄補充1問(9ヶ所)、記述6問、描図2問。問3の描図はやや難しい。	標準
〔Ⅲ〕	P C R法とDNA	P C R法をテーマにした問題。記述5問(選択式2問)、描図2問。〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕と比べると易しい。	標準

〔総合コメント〕

例年、実験考察による論述問題が多い。基本的な知識問題は確実に解答し、ポイントを押さえた論述ができるよう、演習に取り組みたい。遺伝子など新しいテーマの出題も頻出のため、最新の話題もアップデートしておこう。